

Kodak  
LICENSED PRODUCT

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

Blue 1 2 3 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19  
Cyan 2 3 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19  
Green 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19  
Yellow 8 9 10 11 12 13 14 15 17 18 19  
Red 10 11 12 13 14 15 17 18 19  
Magenta 11 12 13 14 15 17 18 19  
White 13 14 15 17 18 19  
3/Color 17 18 19  
Black 18 19

初學和歌式

詞讀  
方  
本

特 別  
~4  
8110  
4



















後世の世と云ふやういふことあり

約志忘ぬるは今の後の世

思

片思

思の思ひとり又たうと思ひと相あつたりてう受り  
人の思ひて我ひとらあて

厭

約あひも思ひあつて思ひていひ独りて物あふ  
いふ思ひて思ひの人の思ひといふ思ひ

やうなれは思ひも又あつたりて思ひて思ひ人  
乃いふ思ひも思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ

とともあり

悔

約志忘ぬるは今の後の世  
くや思ひの思ひも思ひて思ひて思ひて思ひ

思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ  
思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ

思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ  
思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ

七心

悔んんくとも思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ  
思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ

思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ  
思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ

思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ  
思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ

思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ  
思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ

思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ  
思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ

思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ  
思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひて思ひ





あつてどうよはせころなりむづいふよまの  
ありりはくいづらふの夜かともあり

を恋

あつてどうよはせころなりむづいふよまの  
ありりはくいづらふの夜かともあり

あつてどうよはせころなりむづいふよまの  
ありりはくいづらふの夜かともあり

近恋

あつてどうよはせころなりむづいふよまの  
ありりはくいづらふの夜かともあり

旅恋

あつてどうよはせころなりむづいふよまの  
ありりはくいづらふの夜かともあり

恋面歌

あつてどうよはせころなりむづいふよまの  
ありりはくいづらふの夜かともあり

○ 雑

山歌

あつてどうよはせころなりむづいふよまの  
ありりはくいづらふの夜かともあり

あつてどうよはせころなりむづいふよまの  
ありりはくいづらふの夜かともあり

の橋暖ふりりしやよ乃麓くどもあつなんと流る  
ハきよのおよひきよのあつりや枕の心とハぬや  
らうきよのふとハくよとのあひるるるり  
そぐいともしよ古渡とつてさうハうりぬる谷へ洞と  
つてさうハ水ある谷とよびづーとなん推落とハあこ  
ま乃うよよ路しハ路の歌ハ谷のわそさうハ路のう  
よひちとふりかしてよびづー又路といくてもふまか  
入歩の神とよちバけ松といハみおの松といつと  
の松くらさの松志づーさ乃松をよとくハ路とつて  
さうハくハ路とつてさうとつておけし山人といハやま  
づらと又仙人といつてさうもあつ凡山とよびハまはむ  
咲あさら麓乃白雲と花よまづ人友念がりけ山の  
とととさかち林乃おぼそめなまハあーささささささ  
とささささささささささささささささささささ  
びくからさうな麓乃本葉も凡よとくれとらさあ

のささささささささささささささささささささ  
ささささささささささささささささささささ  
の凡本乃るも依もあつりささささささささささ  
人といつてハ本二の孫乃りさうさう地とあつし恋さ  
うせてさうれさささささささささささささささ  
うとさささささ代のさうさなまさささささささ  
らつりつよとあるあもさうさあささささささ  
さささささささ  
初かー川のさささささささささささささささ  
かさをのささささささささささささささささ  
ささささささあけかささささささささささ  
松村つれささささささささささ  
美路といつてさうハ路乃かさささあれと猿人のあ  
ぬさぬ又ハあけの心あつらさささささささ  
と奥交折よ世本さささささささささささささ

美

かきつり

十一

あど付てはの美はくうてせむる事くはの美といは坂  
まどりくつて流すくゆつて節をさうびいひいれや  
る乃そくねとハひう一危士ヒヤウシ主掌君といひ人素王  
よとくれが教よまされてのなれ一の函谷といひ美よ  
しりぬけ美熟乃らうぬらうらハ人といふことさう  
よ主掌君う三千の客の中は鶏のまねとらういせら志  
ありこれが母にちの心を持せしけれはよこの心をち  
鳴らうゆ教めく美のいと明てととらうこれらう  
も乃そく縁といふこと美よらうむく美のなはぬと  
ハ世中志川ううて美のともさくむく事のやきとを  
お坂の美ハ美流よれくあよめゆりんとさく又美  
不美色よとせつもよむく枚の下は美の意く美の  
清あがとお坂のよせく不破の美ハあれたく美の  
つとびさくも士ぶらぬらうぬらうむく美の意ハ  
流といふことさうく美のあり持くことさうさう

野

あけともそくうらう白川の美ハ日教とてりんとさ  
知るゆらさうらういひとさく一ものそくね  
野徑といふ歌ハ野の路く分けとさけりしき歩のの  
神とよむび一野外ハ野とよあべねけか外の字んか  
一又野といふ歌ハ車と流てもくさくさくさくさく  
よ松原松原かと本の原ハあ一あさうが原萩の横  
原かや原とのうらうとハうび一其外ハびさ一の原  
さやさう原とらうが原かハ切端く野ハ四季さうら  
てとのく純うらうぶ一くうらうくさう原よ及野ち  
といふハ野とよりらんし野ちのうらうとハ野とあう水こ  
さうあり野亭といふハ野の亭ハ雲霞初及後作よあ  
く一野ハ清浦初よ名はがよいひこれともさうあさうら  
るよとせうらうと保民ユとさくさうらうあさう一それと云  
神元教名はのせはるあう同およあさうらうとさうのさのや  
かどといひつてハ野ハあさくさやとハ野といふこと後を

かき

水色

ませと八重りーとらふとまき又くくつ村とらふ八重りー  
るはよもありやちせと八重とせせん海ま村とせ  
くせの船八重りーの事ゆふくせ又名はなつがなはよつと  
くくせありふーくくつ略之

川

水色とりあふ八川地は浜に井泉滝つれもよむいー又  
まづうくもつむいー海を流るとりーあも八重り  
乃中よぞいづれもいび歌水色とりあふりして  
く歌ハカクーこれバ地よふりく各流さくくく  
川ととりあふ歌ハ必川のどのこととまきもくく  
ら流家カとまきいー川をとりあふ歌もとりあ  
ふとよまきもくく川ととりあふ歌又川よ舟とよ  
じと流家カとまきいー川ととりあふ歌乃中よと  
かざり流さくといふ八重り村とまきいー流さくく水  
あふ人まきもくく流さくくあふりとまきいー流さくく  
いーくく流さくくくくくくくくくくくくくくくくく

海

くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく  
てなぐれどくくくくくくくくくくくくくくくくく  
まきいーくくくくくくくくくくくくくくくくく  
測ハいこのある測くくくくくくくくくくくくく  
とまきいーくくくくくく  
測あせ世測くくくくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくく水

かき

十







田舎

乃使と一為らくけふは人せせりてのちとて  
のち格のさるのちなをさうとす一じつれとて又とて  
らとひしよりハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
又とて一さうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
吾乃ちひもとげがさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
さうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
細人とりぬんぢくれぬさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
世よりさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
湯乃きとさかハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
宝珠の歌よハ山石のちもさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
ど能本中の宝珠がさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
さいしとさかハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
さうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
さうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃

田舎

をどいつて宝珠のちもさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
もさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
いぞとて宝珠もさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
ど荒屋右砌ハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
知らぬ人もさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
田舎のちもさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
早苗とて秋ハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
一とて秋ハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
たはハ我りしとて秋ハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
ともさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
秋のちもさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃  
てあれさうくハさびしく丹日とあるちくみうとせ乃

田舎

田舎のちも

水心水のこころ

一いづれもあれそく人かひいざりて  
冷まらじし縁よりいふたことも我もまがれり  
とどきりていふおれ一とのやうなれど縁より  
ハあれらんもいそむ世にての執各別く意と  
くら歌よそハ縁の古にまじりて  
新置ハあれてをのよりの世の成らじぐ一荒一  
おれ 垣根人とらぬ人あつと置ふい  
水心ハ川づの置と川川の置とも川の相とも  
又水心の名心とまじりハ置の心なりて  
らどあまの心と終まじり一名心ハ徒川ハ  
今後川まきの跡桂川とら大野川と田川と  
志賀の浦歌彼三跡江と海は田川玉流川なり  
あやま詠海集巻は不可勝斗集巻は水心詠海集巻は情案之不可勝集巻は  
と作下一ハ水心と一終まじりハ今のちまハ不可勝と

古寺

りり詠海とハ難波なとと詠ととい  
如ハ川の心よ求じ一ハ心名心よまじりて  
心と心と  
古寺とらハ難波なとと詠ととい  
うあバおけく又あまらとと後ていふ  
も後づ一名心ハとら世寺  
多一 一の六寺大和要寺とら寺ととら寺ととら寺と  
かゝの寺日寺とあの寺日寺とあの寺日寺とあの寺日寺とあ  
雲の寺日寺とあの寺日寺とあの寺日寺とあの寺日寺とあ  
このの心日寺とあの寺日寺とあの寺日寺とあの寺日寺とあ  
かゝの寺日寺とあの寺日寺とあの寺日寺とあの寺日寺とあ  
あぢの寺日寺とあの寺日寺とあの寺日寺とあの寺日寺とあ  
ハどのくお熟乃をせありかたていふハ  
とくいづ乃をせありかたていふハ  
つゝんてと地あられは法のとと法のとと法のとと法のとと

水心口寺



述懐

うすむぎて乃公ハ林よりりしるやとひつゝ一ハ  
林書のうんやとらうらひつげバれぬの  
細らやうのゆゑとていふゆゑ一ハ  
あぢの如くはひろくうんいふ一ハ  
むしろを弁とり大いひひりくも人をもつ  
やとらちくもゆりらのらうい  
あぢが去述懐ハ此ののうらうらういハ  
ひんけん一述懐のうらうらういハ  
のうらうらういハ或人よとくれ或はひらう  
乃述懐ハ一ハ各別しこれさあうらうらうい  
成ハ述懐百もあぢも何んやもうらうらうい  
るうらうらういハ心知いあうらうらういハ  
ハ述懐ハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
うらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
様とらハ公のうらうらういハハ勿論なれどそれとら

懐旧

とらうらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
うらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
はうらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
もようらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
とらうらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
るうらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
なうらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
むつうらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
うらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
とらうらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
知らうらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
かとらうらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
懐旧ハうらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
うらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ  
うらうらういハ一ハ述懐とてうらうらういハ



のんし後二ハ教とすりれんよても教の内之に於ては  
乃所任なりぬ而もか後し羈中二ハ近きといハ所  
名はよそいとも何人並波の敷ハらうともいふはたしハ  
そとをいふらう一教ハかかろくも然してし日もまら  
美教といふ條をとりていふこと

一後まかほといひて海道をたのたまうまかれるるも  
いふとよびて一あまよりハ伏見園を遊ばせしのが  
州府のその系がていふやと川にうまうまのいふは  
川がの舟のまのの中ハ志あめらうとせらう海軍のり  
かかるとハ務りおれのにいふ一いふの中ハかか  
いふとまが実がていふ一富士の條をいふはうまか  
おつらふいふ一時とて川日月の雲人れ路うら  
ちて川せらあかいらせらう一うら大にいふく野  
いふくそいふかふとくあえらう一西國のくハ大と  
陸あり一舞路とら穴じまやとあえらうしかりとれハ

結を

勅使のあふ下勿乃時たよしむをとりていふ  
和て勅使とりてなとてしむをのせとハ勅使のあ  
一いふこととあせんあはれとらうしむをつとひ  
いふやくとともより名はいふ遊ばせとらう一あは  
なとてよりありとて後の方ハ後長あま海軍より  
いふくあはれ野のくともあはれとらういふこと  
とていふくあはれあまもあまらうとらういふこと  
和茶扱とて扱とらう子扱といふは床のあはれあ  
扱とらうとて扱とらうけのあはれいふとらうねあはれ  
いふ事とらういふいふ一扱とらうとていふこと  
唯二ハ村ハ海川のくまもかりらとてあはれとて  
とていふこととていふハ村とていふはむさしのくまの  
まよいつらとていふのくまのくまのくまのくまの  
ふ条とていふとていふのくまのくまのくまのくまの  
とていふとていふとていふのくまのくまのくまの





万代の表万代の杖つぎせられしせられひびりさ  
いづ美い杖つぎりれささひ光とせ幾らよ万代  
八百年代もさしもちあつらりりみえさ  
け外天象地係植物雜物生類若ぬの歌うとくあり  
とつどもこいさなれはあづくこいとささ

名所の事

一 ちか清行曰びびりり納美なる名所の美名とこのひ  
ぶくまと名所のいこひも美なる名所は立田内を  
とつども等しとささとれ名所と美なる人のささ  
美なる耳とささ名所のさし美なる名所は立田  
よていづちとささ名所のさし美なる名所は立田  
も好むとささ名所のさし美なる名所は立田  
よていづちとささ名所のさし美なる名所は立田  
よていづちとささ名所のさし美なる名所は立田



ちづしとささ名所のさし美なる名所は立田  
一 八雲に傳名所と傳とるよはつなれりり美と傳へ一但  
ちづしとささ名所のさし美なる名所は立田  
よていづちとささ名所のさし美なる名所は立田  
よていづちとささ名所のさし美なる名所は立田  
よていづちとささ名所のさし美なる名所は立田

一 日大つと美なる名所のさし美なる名所は立田  
よていづちとささ名所のさし美なる名所は立田  
よていづちとささ名所のさし美なる名所は立田  
よていづちとささ名所のさし美なる名所は立田  
よていづちとささ名所のさし美なる名所は立田





うへにやうのことと述べたをうへにやうに述べたをうへにやうに述べた

一箇辭はとて其の下のそとてハ境地のかりらるるにハ及

所はとていふまゝかりらるるにハ及

一箇辭はとて其の下のそとてハ境地のかりらるるにハ及

所はとていふまゝかりらるるにハ及

一箇辭はとて其の下のそとてハ境地のかりらるるにハ及

所はとていふまゝかりらるるにハ及

一箇辭はとて其の下のそとてハ境地のかりらるるにハ及

所はとていふまゝかりらるるにハ及

一箇辭はとて其の下のそとてハ境地のかりらるるにハ及

所はとていふまゝかりらるるにハ及

一箇辭はとて其の下のそとてハ境地のかりらるるにハ及

所はとていふまゝかりらるるにハ及

一箇辭はとて其の下のそとてハ境地のかりらるるにハ及

和

おとよむしはやうく物名の縁格とハことハ古今集の  
物名よりのやうハ

うへにやうのことと述べたをうへにやうに述べたをうへにやうに述べた

一箇辭はとて其の下のそとてハ境地のかりらるるにハ及

所はとていふまゝかりらるるにハ及

一箇辭はとて其の下のそとてハ境地のかりらるるにハ及

所はとていふまゝかりらるるにハ及

